

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。

猛暑から一転、朝晩は肌寒い日も多くなってきました。くれぐれもご自愛ください。

九月の内閣改造に伴って、一年間務めてきた内閣府副大臣を退任しました。議会制民主主義、政党政治においては、「議会」「政党」「政府」の三者が三位一体となって政権を運営する仕組みになっています。

「政府」の内閣府副大臣から、今度は「議会の参議院財政金融委員会筆頭理事」、「政党」の広報委員長として仕事をさせて頂きます。

財政金融委員会では、財政政策や金融政策を議論します。金融政策は僕の古巣(元の勤務先)である日銀が責任を負っています。法律に基づいて「政府」の経済政策と十分に調整することが求

められています。

十月五日、日銀はデフレ、円高、不景気への対策として、ゼロ金利政策の復活を決定しました。また、国債、社債の購入増額や、新たに株式投資信託(ETF)や不動産投資信託(REIT)などを購入することも決定しました。政策の総動員です。

十月八日には、「政府」が緊急経済対策を発表。約五兆円の補正予算を編成し、財政政策を行うことを決定しました。実行のためには、「議会」での審議、可決が必要です。

「議会」での仕事をしっかり進める一方で、「政党」としての仕事もしくなくてはなりません。

「政党」での広報委員長としての仕事は、岡田克也幹事長が直属の上司になります。昨年の今頃、「政府」の内閣府副大臣としての上

司は亀井静香大臣でした。

上司が亀井さんから岡田さんに替わったわけですが、亀井さんの頭文字は「K」、岡田さんの頭文字は「O」、「KO(ノックアウト)」されないように頑張ります。

「政府」広報と「政党」広報の役割は微妙に違うと思いますが、日本では今までそうしたことが十分に整理されないまま、何となく今日に至っています。

既に時代は二十一世紀ですが、日本の「政党」政治の歴史は以外に浅く、戦前の原敬(はらたかし)首相以降の約十年間と、戦後の独立回復後の約六十年間。合計七十年足らずの歴史です。

「議会」「政党」「政府」の役割分担とそれぞれの適切な対応を目指し、引き続き職務に精励します。頑張ります。

※

耕平



かわら版執筆者 大塚耕平

1959年生まれ。日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。その後、旭丘高校、早稲田大学をへて、日本銀行に18年勤務。2001年から参議院議員。現在2期目。地元の覚王山に事務所を開き、故郷覚王山の地元振興と歴史・文化遺産の継承・復興のために「弘法さんかわら版」を執筆しています。来年で足かけ10年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は早稲田大学と中央大学大学院の客員教授。

鳩山内閣、第一次菅内閣で内閣府副大臣を務めました。

毎月21日、覚王山日泰寺は
「弘法さん」

「かわら版配り」ボランティア募集!

21日の8:40~10:30頃山門へおいでください。

お問い合わせ:052(757)1955 大塚耕平事務所(皇田/佐久間)

